

令和 6 年 11 月 10 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称… グループホーム あしたか

サービス種類… 認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和 6 年 11 月 6 日

開催場所… 特別養護老人ホーム東寿苑 訓練室

出席者

事業所	3 人	利用者	0 人
利用者家族	0 人	地域代表者	1 人
松江市職員	1 人	包括支援センター	0 人
知見を有する者	0 人	その他	0 人

議事

1. あしたかの現状報告

◎ 利用者状況

R6 年 11 月 6 日現在利用状況 現在満床

要支援 2 ・ ・ 1 名 介護 1 ・ ・ 4 名 介護 2 ・ ・ 3 名 介護 3 ・ ・ 1 名

平均介護度 ・ ・ 1.62(要支援 2 の方除く)

待機者数 男性 1 名 女性 7 名

9 / 1 8 に 1 名退所。

1 0 / 2 2 に 1 名入所。要介護 2、女性。

◎ 活動状況

9 / 2 5 敬老会

1 0 / 1 1 習字

1 0 / 1 6 散髪

1 0 / 1 8 お茶会

1 0 / 1 3 東寿苑祭り

1 0 / 2 9 インフルエンザ予防接種 利用者 9 名接種

クラブ活動はコロナウイルスの影響で中止

◎ 事故 1 件 11/1 居室内での尻もち

早朝 4 時 40 分、センサーが鳴り訪室すると、A 様が下着を降ろした状態でポータブルトイレを背に長座位になっておられるのを発見する。痛みの確認をするとどこも痛くないと。こちらの指示が伝わらず、1 人で起こ

すことが困難と判断し、ホーム長に連絡し来ていただく。ホーム長の声かけで立つことができ、ベッド上に移乗、休んでいただくが、一連の動作で痛みの訴えは無かった。

その後 2 回ポータブルトイレに座れるも痛みの訴えは無く、朝食前も押し車使用にて出てこられる。

※11/4 に B 様が廊下で転倒される事故がある。左足大腿部の痛みがあり、整形受診し骨折は無かった。詳しくは次回の運営推進会議でお伝えさせていただく。

◎ インシデント 0 件

◎ 入院 0 件

◎ 救急搬送 0 件

2. 研修状況

◎部署内研修 スタッフ会にて

9 月 認知症ケア 緊急時の対応

10 月 利用者主体のケアの再確認 「介護過程とは」

◎ホーム研修

実施なし

◎外部研修

実施なし

3. 会議報告

・令和 6 年度第 2 回あしたか身体拘束廃止委員会 R6. 9. 19

5 つの虐待の定義（身体的虐待、介護・世話の放棄・放任（ネグレクト）、心理的虐待、性的虐待、経済的虐待）の再確認をする。

4. 行事予定

コロナウイルスの影響により、クラブ活動、外出を当面中止といたします。

随時散歩へ

11/8 避難訓練（夜間想定）

11/9 おやつ作り

11/12 外部評価の訪問調査

11/26 コロナワクチン接種日

5. 研修予定

部署内研修とホーム研修は11月よりPCやスマホを使用したサブスクリプション研修に移行。これは皆が一斉に受けるのではなく、空いた時間に動画を見るという方法で、これを受けることで事業所必須の研修も受けることができ、研修をし忘れたという漏れがなくなるメリットがある。10月よりホーム長とケアマネが先行で研修を受けており、11月よりあしたか職員全員が受けることになる。

6. 実習受け入れ

東出雲中学校 9/18～20 女性2名

湖東中学校 9/25～28 男女各1名

7. その他

面会につきまして、コロナ感染の方も落ち着きましたので、直接面会を再開することといたしました。

面会は事前予約としており、AM1組、PM1組とし、15分程度の面会を実施しています。また、オンライン面会も引き続き行っております。

※受診の方は引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

- ・10月1日付で山根亜弥がグループホームあしたかホーム長に就任。
- ・11月に家族様宛にあしたか便りを発行する予定。
- ・10月より協力医療機関として松江記念病院と契約。これに伴い、毎月、協力医療機関連携会議を実施。基本web会議で、記念病院の看護師と利用者の情報の共有を図る。

8. 意見交換

- ・散髪ボランティアについて、これはデイなどで行われている散髪とは違うのか(地域代表者)
→これは安来の方から来られる散髪ボランティアで、無償というわけではないが、安く散髪をしてくださっている。デイと特養の方は移動散髪車が来て散髪されている。こちらはボランティアというよりは営業で来られていると思う(ケアマネ)。
→実は町内でデイ等にも行っておられず、髪が長い方がおられ、どうしたらよいか困っている事例がある。東寿苑で切ってもらえないだろうか(地域代表者)。
→こういう相談があったということをケアマネにもお伝えし、検討してみます(ケアマネ)。
- ・A様の事故について、大きな怪我はなかったか(市職員)。
→大きな怪我はなかった。尻もちをついた状態で見つけたが、痛みを訴えられることはなかった(ケアマネ)。
→座ろうとして踏み外したという感じなのか(市職員)。
→ベッドからポータブルトイレに移ろうとした際に、靴を履いてなかったので靴下で滑ったのではないかという推測(ホーム長)。

→本来はベッドから体を起こした段階でセンサーが鳴り、職員が駆け付け見守りの中で排泄をされるが、この時はセンサーの反応が悪く、駆け付けた時には尻もちをついておられた。対策としてセンサーの位置を高くし早く反応するようにした(ケアマネ)。

・利用者の方から困っていることなどあるのか、みんな穏やかに過ごされているのか(地域代表者)。

→新規の方に対しては、信頼関係の構築が大切というのは職員で共有している。また、他の方に対しても、半年に1回はケアプランの更新があるので、意向の確認を行っている。ただ、その時に意向を伺っても、今は浮かばないという方が多く、いい具合になっていると言われる方もおられる。ケアマネ以外でも職員との会話の中で出た話、意向などは共有するようにしている。難しいのは帰宅願望のある方が家に帰りたと言われたときなど、じゃあ帰りましょうというわけにはいかず、かといってもう帰れませんよなどと言うことも適切ではないと思われる。本人様を安心させる声かけ、否定しない声かけを個々に合わせて工夫させていただいている(ケアマネ)。

→一緒にお茶を飲んでという感じですかね(地域代表者)。

→職員と利用者のコミュニケーションは大事で、例えば入浴の時間などは職員と利用者が1対1になる場面でもあるので、声をかけるとポロっと本音が出ることもある。そういった場面で出た声なども職員間で共有するようにしている(ケアマネ)。

→家族から要望が出ることはありますか(地域代表者)。

→最近だと、紙パンツの支払いなどのために預り金という現金を少し持たせていただいているが、お金を預かった時に預かりましたという証になるものがなかったの、家族様から封筒を用意したいと申し出があった。また、出納帳も定期的にコピーを送ることになった(ケアマネ)。

・記念病院との契約は今までの経緯として何かあったのか(地域代表者)。

→今年度の4月から協力医療機関というのを定める必要があったはずで、まず特養が記念病院と契約することになり、特養の方からあしたかも一緒にどうかとお話があり、一緒に契約させていただいた。10月から契約が始まったので、今までに2回ほど協力医療機関連携会議を行った。この場で記念病院の看護師さんと利用者の情報を共有したり、アドバイスを頂いたりしている(ケアマネ)。

→この4月に介護保険の制度改正があり、協力医療機関を定めましょうということになった。特にこの3年間で問題になったのがコロナへの対応であり、コロナに雇った人をどうしていくか、病院も受け入れに限度があり、症状のある人を施設でどうやって見ていくべきか、そのようなこともあり協力医療機関を定めましょうということになった(市職員)。

→当グループホームは看護師がいないので、いろいろとアドバイスももらえるので契約できたことは良かったと思う(ケアマネ)。

次回開催予定 令和7年1月予定。

□活動報告についての評価を受けることができたか。	○
□要望・助言等受ける機会を設けたか。	○